

2つの地震についての新聞記事を読んで、地震災害について考えよう。

下田市の中心部にはどれほどの高さの津波が 来ましたか。どのような被害がありましたか。	(2)
稲田寺の塚が、なぜ作られたのでしょうか。 考えてみましょう。話し合ってもよいです。	(3)

(4)

(5)

新学習指導要領では、地震災害について取り上げることになりました。静岡県では東海地震が予想され、また、東日本大震災の影響で、児童も地震に関する関心が高まっています。児童の関心が高まっている時は学習効果も高まります。関連する新聞記事を効果的に取り入れて指導を工夫してください。

東北、関東M8.8

[illegible]

国内最大、宮城震度7



深度7

日本では、東京や名古屋などの大都市圏から、地方都市へ向かうバスが、1日10本以上あり、バスが走る距離は、東京から大阪まで約1300km、名古屋から福岡まで約1000kmに達する。バスは、日本の公共交通機関の中心であり、地方都市の生活を支えている。また、バスは、観光客にとって、地方都市の風景や文化を体験するための重要な手段となっている。

バスは、地方都市の交通の便を向上させ、観光客の移動を容易にする。また、バスは、地方都市の環境に優しい交通手段であり、自動車よりも少ないCO2を排出する。さらに、バスは、地方都市の経済を活性化させる役割を果たしている。地方都市の観光客は、バスを利用して、地方都市の美しい風景や文化を体験し、地方都市の発展に貢献している。

バスは、地方都市の交通の便を向上させ、観光客の移動を容易にする。また、バスは、地方都市の環境に優しい交通手段であり、自動車よりも少ないCO2を排出する。さらに、バスは、地方都市の経済を活性化させる役割を果たしている。地方都市の観光客は、バスを利用して、地方都市の美しい風景や文化を体験し、地方都市の発展に貢献している。

This aerial photograph captures the aftermath of the atomic bombing of Hiroshima on August 6, 1945. The city is shown in a state of complete devastation, with almost all buildings reduced to rubble. The A-Bomb Dome, the only remaining structure from the city center, stands as a stark reminder of the event. The surrounding landscape, including the hills and the bay, is visible, providing a historical perspective on the scale of the destruction.

上空から見た下田市街地 4月29日(本社へリ「ジェリコ1号」から)

供養塔、猛威忘れず



写真の青い網部分は、県の協力を得て航空写真に安政東海地震の推定津波浸水域を重ねたおおよその目安です。想定東海地震の津波浸水域など詳しくは県のホームページから、県の第3次被害想定を確認してください。

下田・稲田寺

きた傳馬が本堂のほりにて、海抜一〇五〇程度。今もつきりと残っている。松井大英住職(53)は「津波は海とともにも生きている宿命」と捉える。県の資料によると、市中心部は6メートルを超える大津波ののみ込まれた。900軒余りの民家や船が流された。122人もその命が奪われたとされる。了仙寺は海から直線距離で300メートルほど

山を背にした地形に救われ、流されて免れたが、津波の影響で本堂は少し傾いている。松井住職は「宿命を受け入れるのは同時に津波の怖さを認識し、備えよう」という。常々意識している」と警告する。

下田市・丁目の稲田寺（こうでん）には、津波による死者を供養する

で、海拔4500程度。
山を背にした地形が救われ、津波の被害は免れたが、津波の影響で本堂が少し傾いている。松谷住職は「宿命を受け入れるのは、同時に津波の怖さを認め、備えること」を語り、常に意識している」と警戒する。

下田市一丁目の臨田寺（とうでんじ）には、津波による死者を埋葬するために地震の翌日に建てられた「津なみ塚」がある。「嘉永七年十月四日」。石塔の横には安政東海地震の発生が刻まれ、頂には石仏が座る。先人の尊い命を弔い思い、津波への恐怖心が後世に伝えられている。

小川裕司住職（45）は「津波の猛威を忘れないためにも津なみ塚がない」と静かに語り、花をたむける。

（下田支局・小橋哲郎）